

e004003	[宮之浦区]牛床詣所	概要 適用
 <p data-bbox="226 746 510 770">e004003001) 牛床詣所全景</p> <div data-bbox="255 842 483 995">  <p data-bbox="255 1002 376 1026">e004003002 案内看板</p> </div> <div data-bbox="521 842 750 995">  <p data-bbox="521 1002 642 1026">e004003003 鳥居</p> </div> <div data-bbox="804 842 1032 995">  <p data-bbox="804 1002 925 1026">e004003004 大山神石祠</p> </div> <div data-bbox="255 1094 483 1248">  <p data-bbox="255 1281 472 1305">e004003005 一品法寿大権現石塔</p> </div> <div data-bbox="521 1080 642 1262">  <p data-bbox="521 1281 665 1305">e004003006 仁王像(阿形)</p> </div> <div data-bbox="804 1094 1032 1248">  <p data-bbox="804 1281 947 1305">e004003007 仁王像(吽形)</p> </div>		<p data-bbox="1149 217 1223 240">【概要】</p> <p data-bbox="1149 264 1216 288">祭 神</p> <ul data-bbox="1149 312 1234 336" style="list-style-type: none"> ・大山神 <p data-bbox="1149 408 1267 432">その他情報</p> <ul data-bbox="1149 456 1948 1398" style="list-style-type: none"> ・13m 四方の敷地 ・江戸時代後期の石塔が多い。 ・明治の年号の入った石塔は8基。 ・石塔のほとんどは文字の無い小石塔(鹿児島石)である。 ・石塔の形式からみて、この詣所は江戸時代初期ごろから設けられた。 ・「一品宝珠大権現」の石塔をはじめ、二体の仁王像、手水鉢一個を含め 64 体の石塔群がある(1984 年現在)。 ・嘉永天保年間に島で疱瘡が流行したが、宮之浦村から患うものを出さなかったことの感謝の碑文がある。 ・藩政時代は奉行所の代官はじめ役人(有力者)たちの祈願所であった。 ・牛床は宮之浦の人々の御岳の遥拝所であり坂迎えどころ。 ・女人禁制のために山に入れない女性たちが奥岳を拝む場所(遥拝所)。 ・中央の石塔には「一品宝珠大権現」であるはずが「一品法壽大権現」と刻まれている。 ・「一品宝珠大権現」をまつる山川石の大石塔は「天保 14(1843)年癸卯 12 月 13 日」に屋久島中の疱瘡の流行停止と軽減を祈って建てたもの。 ・法華宗の屋久島布教により、古来の山岳信仰から神仏混合へ移り変わったため。 ・仁王像は宗教改革の嵐の難を島人の手で守られた。 ・鳥居の扁額には大山神とある



e004003008
石塔群



e004003009
岳参り坂迎え



e004003010
岳参り坂迎え

・昭和 40 年ころ、上屋久営林署が大山祇大神を祭神とする大山祇神社を移してまつりはじめた。

・3km ほど上流にあった事業所から第一鳥居の付近を町から払い下げてもらい、営林署関係の 20 戸ほどの家を建てて住んだ。

・大山祇神の祠

・オオヤマツミーコノハナノサクヤヒメーヒコホホデノミコト(祖父)

・山の神であるオオヤマツミ

【位地的情報】

・県道白谷雲水峡宮之浦線羽神の郷を入った奥にある。

【文献・その他】

・下野敏見著屋久島もっと知りたいー人と暮らし編ー P85 P338

【写真】

e004003001)_牛床詣所全景周囲は杉の人工林

e004003002)_案内看板は教育委員会の設置

e004003003)_鳥居の扁額には大山神の文字

e004003004)_コンクリート製の大山神石祠

e004003005)_山川石の一品法寿大権現石塔

e004003006)_ほぼ完全な形で残る仁王像(阿形)

e004003007)_ほぼ完全な形で残る仁王像(吽形)

e004003008)_多くの石塔群

e004003009)_岳参り坂迎え(2014 年総歩き)

e004003010)_岳参り坂迎え(2014 年総歩き)